

台湾の電力事情

1. 台湾と当社の比較

	台湾全体	東京電力
発電設備	3,737 万 kW* IPP を含む	7,493.4 万 kW* 他社受電含む
水力	451 万 kW(12%)	1462.7 万 kW(20%)
火力	2,762 万 kW(74%)	4211.9 万 kW(56%)
原子力	514 万 kW(14%)	1818.8 万 kW(24%)
その他	10万kW(0%)	0.1 万 kW (0%)
販売電力量	1,816 億 kWh	2,876 億 kWh

(台湾：2006年12月末、当社：2006年度末)

2. 電力需要

順調な台湾経済を反映して電力需要も増加している。販売電力量は1992年には853億kWhであったが、2006年には1,816億kWhを記録した。(1992～2006年までの年平均伸び率約5.5%)

3. 電気事業の実施主体について

台湾電力が台湾全土における発送電から配電までを一貫して受け持つ。台湾政府が株式の大部分を保有し、政府経済部（日本の経済産業省に相当）の監督下におかれている。

以 上